

エコアクション21

環境経営レポート

2023 年度

(2022 年 10 月 ~ 2023 年 9 月)

作成年月日 : 2023 年 12 月 12 日

電協産業株式会社

I 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

電協産業株式会社

代表取締役 日野 哲雄

2. 所在地

本社・工場	北九州市戸畑区中原東四丁目2番1号
福岡営業所	福岡市博多区博多駅前2-19-17-208
南九州営業所	宮崎市島之内7418-1-N103

3. 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者 徳山 久志

連絡先 TEL 093 - 871 - 8061

FAX 093 - 871 - 8232

4. 事業内容

化学工業薬品の販売 水処理薬品の販売
ブローワー・ポンプ・破碎機の修理及び販売
産業機器・環境機器の販売及び修理
水処理コンサルタント
建設資材の販売

5. 事業規模

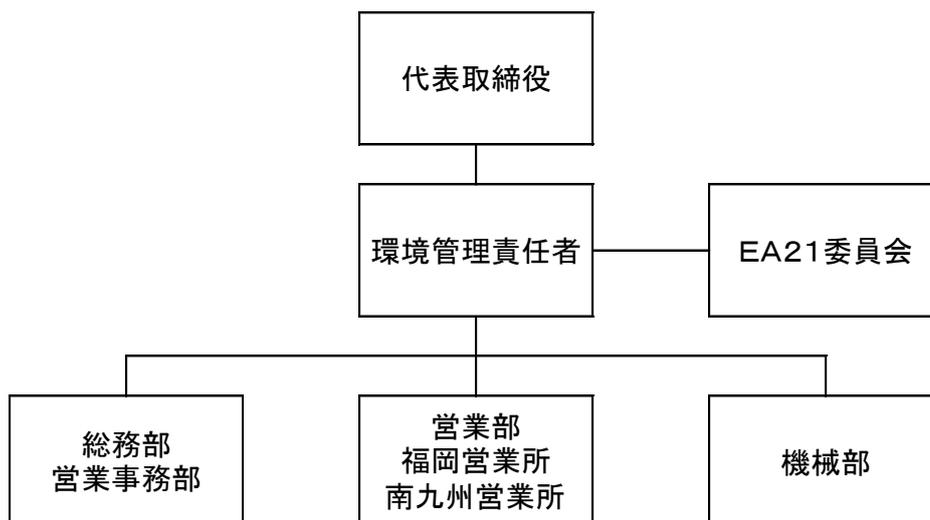
設立	昭和33年	7月	1日
資本金	1千万円		
敷地面積	2,918.26 m ²		
延床面積	1,077.05 m ²		
売上高	2023年度	12億円	
従業員	30名		

6. 事業年度

自 2022年10月1日 至 2023年9月30日

Ⅱ 実施体制と対象範囲

実施体制



役割分担表

所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表取締役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境管理責任者、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会	3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
総務部	電力・水消費量・車燃料の管理 廃棄物・廃油の排出量の管理
営業部	新規売上先件数の管理
機械部	新規売上先件数の管理

対象範囲は、全組織、全活動とする。

Ⅲ 環境経営方針

電協産業株式会社は、送風機やポンプなどの産業用機器のメンテナンス及び販売、水処理に係わる化学工業薬品類及びその他の産業用の消耗品などの販売を主力とする企業です。

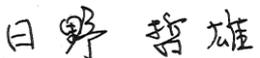
これらの活動を通して資源の有効利用や排水処理に貢献してきており、環境問題にも真剣に取り組んできております。

一方、これらの企業活動を通じて環境にも負荷をかけており、環境問題が人類共通の最重要課題であることを認識するとともに、後世代に対しても安全で安心できる地球環境の保全を経営の最重要課題の一つとして活動を行います。

1. 事業活動における環境影響を考慮し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的・目標を設定し、地球環境の保全及び汚染の予防に努めるとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境関連の法律・規制・協定及び当社が合意したその他の要求事項を遵守します。
3. 事業活動において、以下の項目を重点項目として環境保全活動に取り組めます。
 - (1) 地球温暖化防止の為に二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 資源の有効利用
 - (3) 廃棄物の削減とリサイクル化の推進
 - (4) 化学物質使用量の維持管理
 - (5) 環境にやさしい産業機器や消耗品及びサービスの普及・販売の推進
4. 産業用機器と化学工業薬品の販売により、顧客満足度の向上を図ります。
5. 環境経営方針は文書化し、全従業員に環境教育を実施し、環境保全の大切さを周知させ、本方針の実行および維持を図ります。
6. この環境経営方針は社外にも公開し、一般の人が入手可能とします。

制定日：2009年 8月 1日
改定日：2023年 1月 15日

電協産業株式会社

代表取締役 

IV 中長期環境経営目標

環境目標	単位	過去 3年平均	目 標		
			2021 年度	2022 年度	2023 年度
1 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	108,885	108,885	108,885	108,885
1-1 電気使用量	kWh	44,446	44,446	44,446	44,446
1-2 ガソリン使用量	ℓ	18,261	18,261	18,261	18,261
1-3 軽油使用量	ℓ	20,236	20,236	20,236	20,236
2 一般廃棄物排出量	kg	1,573	1,573	1,573	1,573
3 排水量(給水量)	m ³	513	513	513	513
4 販売先新規件数	件	30	30 件	30 件	30 件

○ 電力の排出係数は、九州電力の 2018年度調整後排出係数 0.319kg-CO₂/kWh を採用

V 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・ エアコン室内温度（暖房 22℃ 冷房 26℃）
- ・ エアコン未使用時電源 OFF
- ・ エアコン効率向上（定期的にフィルター清掃）
- ・ 離席時消灯
- ・ 昼休みのパソコンスイッチ OFF
- ・ 使用していない会議室・休憩室は、消灯
- ・ 工場で使用していない機械は、電源元よりコンセントを抜く
- ・ 工場で作業中、水銀灯等は作業箇所のみ照明する。

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ・ 急発進・急加速は行わない
- ・ ゆとりをもった車間距離運転(前後左右)
- ・ カーナビを使った効率的な走行ルート

2. 一般廃棄物排出量の削減

- ・ 分別の徹底（リサイクル化の推進）
（古紙・ダンボール・缶・瓶・ペットボトル・金属・
廃木材・廃プラ・がれき 等の分別）

3. 排水量(給水量)の削減

- ・ 水をこまめに止める
- ・ 水の漏洩の点検

4. 販売先新規件数

- ・ 計画的な営業活動により新規開拓
- ・ クレームの無い営業とサービス技術

VI 環境活動の取組結果と評価

環境目標	単位	目標	実績	差引	目標達成の判定
		2023年度	2023年度		
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	108,885.0 以下	113,641.4	4,756.4	×
電気使用量	kWh	44,446.0 以下	45,678.0	1,232.0	×
ガソリン使用量	ℓ	18,261.0 以下	17,404.0	-857.0	○
軽油使用量	ℓ	20,236.0 以下	22,718.0	2,482.0	×
一般廃棄物排出量	kg	1,573.0 以下	1,550.0	-23.0	○
排水量(給水量)	m ³	513.0 以下	483.0	-30.0	○
販売先新規件数	件	30.0 以上	39.0	9.0	○

1. 二酸化炭素排出量の削減

下記のように、電気使用量の削減活動と、ガソリン・軽油使用量の削減活動を行った結果、二酸化炭素排出量については、目標値 108,885.0 kg-CO₂ に対して、実績 113,641.4 kg-CO₂ と、目標値を 4,756.4 kg-CO₂ 上回る事となりました。

(1) 電気使用量の削減

蛍光灯 1 個 1 個スイッチを取付けて、無駄な照明を無くした。
離席時消灯、使用していない会議室・休憩室は消灯、各々のドアにスポンジテープを貼って冷暖房効率 up、エアコンフィルターの定期的清掃、Tシャツを配布し、クール・ビズ取組。ロールスクリーン設置等省エネに取り組みました。
しかし、今年の夏は非常に暑かったため、電気使用量が増加し、目標達成にはいたりませんでした。

(2) ガソリンの削減

毎月、ガソリンの削減チェックリストに自己評価している。
ハイブリット車 7 台。事前アポイントによる効率的な走行ルート。

(3) 軽油使用量の削減

毎月、軽油の削減チェックリストに自己評価している。
九州新幹線等公共交通機関の活用等取組んだが、目標達成する事は出来ませんでした。
ハイエース増車により、軽油使用量増加。様子を見て目標値を見直す。

2. 一般廃棄物排出量の削減

分別の徹底（リサイクル化の推進）、目標を達成する事が出来ました。

3. 排水量(給水量)の削減

各蛇口に、節水のシールを貼り、節水に取り組む、目標値達成。

4. 販売先新規件数

計画的な営業活動により新規開拓、事前アポイントによる有効面談件数の増加。
取引先メーカーからの信頼による紹介により新規件数増加。
目標値 30 件 に対して、実績 39 件と、目標を達成する事が出来ました。
来年も目標値 30 件にて頑張ります。

VII 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標	単位	過去 3年平均	目 標		
			2024 年度	2025 年度	2026 年度
1 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	121,942	121,942	121,942	121,942
1-1 電気使用量	kWh	46,230	46,230	46,230	46,230
1-2 ガソリン使用量	L	18,280	18,280	18,280	18,280
1-3 軽油使用量	L	22,678	22,678	22,678	22,678
2 一般廃棄物排出量	kg	1,553	1,553	1,553	1,553
3 排水量(給水量)	m ³	480	480	480	480
4 販売先新規件数	件	30	30	30	30

○電力の排出係数は、九州電力の2022年度調整後排出係数0.453kg-CO₂/kWhを使用

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量の削減

- ・ エアコン室内温度（暖房22℃ 冷房26℃）
- ・ エアコン未使用時電源OFF
- ・ エアコン効率向上（定期的にフィルター清掃）
- ・ 離席時消灯
- ・ 昼休みのパソコンスイッチ OFF
- ・ 使用していない会議室・休憩室は、消灯
- ・ 工場で使用していない機械は、電源元よりコンセントを抜く
- ・ 工場で作業中、水銀灯等は作業箇所のみ照明する。

(2)ガソリン・軽油使用量の削減

- ・ 急発進・急加速は行わない
- ・ ゆとりをもった車間距離運転(前後左右)
- ・ 公共機関の活用
- ・ カーナビを使った効率的な走行ルート

2. 一般廃棄物排出量の削減

- ・ 分別の徹底（リサイクル化の推進）
（古紙・ダンボール・缶・瓶・ペットボトル・金属・
廃木材・廃プラ・がれき 等の分別）

3. 排水量(給水量)の削減

- ・ 水をこまめに止める
- ・ 水の漏洩の点検

4. 販売先新規件数

- ・ 計画的な営業活動により新規開拓
- ・ 薬品営業と機械営業が互いに協力して新規商品販売を図る

VIII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法規名	遵守状況
・ 環境基本法	問題なし
・ 北九州市公害防止条例	問題なし
・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	問題なし
・ フロン排出抑制法	問題なし
・ 資源の有効な利用の促進に関する法律	問題なし
・ 自動車リサイクル法	問題なし
・ 特定家庭用機器再商品化法	問題なし
・ グリーン購入法	問題なし
・ 福岡県環境保全条例	問題なし
・ 福岡県公害防止条例	問題なし
・ 毒物及び劇物取締法	問題なし
・ 消防法	問題なし
・ 福岡市条例	問題なし
・ 宮崎市条例	問題なし

環境関連法規制等の順守状況の自己評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。
又、関係当局及び近隣住民からの指摘、苦情、訴訟等もありませんでした。

IX 代表者による全体の評価と見直し・指示

社員全員が地球環境保護という目的に対し、全員参加し、実践しなければいけない。
全体的には、環境に対する意識は向上してきたと思っている。
新幹線、フェリー、航空機等を活用し、燃料や時間の節約をしている。
今後もおおいに公共機関の活用を図っていく。
又、ハイブリッド車が7台に、今後も順次、エコカーに買い替えていく。
新規販売先顧客件数も目標達成しております。
来期も、目標に向けて、全社員で、頑張っ参ります。